

平成30年度国立歴史民俗博物館

共同利用型 共同研究 募集

応募締切 平成30年2月23日(金) 必着

国立歴史民俗博物館では、館蔵資料や保有する分析機器・設備を用いて、館内の教員（1名）と共に進める共同利用型共同研究を募集します。

大学院やポストドクターなどを含む、若手研究者の応募を期待します。

研究期間

平成30年4月～31年3月（1年間）

応募資格（下記のいずれかに該当する方）

- 大学院博士後期課程の学生
- 国内外の研究機関に所属する研究者（常勤・非常勤を問いません。ポストドクターを含みます。）
- 自治体の研究活動・業務に従事する常勤職員
- その他、上記の者に準じる研究の能力と経験を持つ方



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

今回募集する共同利用型共同研究について

■ 館蔵資料利用型

本館が所蔵する資料を対象とした、非破壊的手法（熟覧・記録・撮影等）による調査・研究を行います。
館蔵資料は、本館ホームページから、館蔵資料データベース <http://www.rekihaku.ac.jp/doc/t-db-index.html> をご参照ください。

■ 分析機器・設備利用型

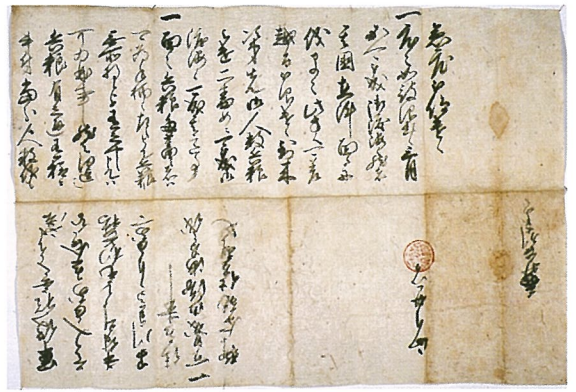
本館が保有する分析機器や分析設備を用いた調査・研究を行います。
利用することのできる分析機器・設備は、本館ホームページ http://www.rekihaku.ac.jp/research/list/joint/public_ad/equipmentandfacilities.html をご参照ください。

研究期間 平成30年4月～31年3月（1年間）
公募件数 7件程度
研究経費 30万円以内

応募にあたっては、「平成30年度国立歴史民俗博物館共同利用型共同研究公募要項」を熟読願います。

申請方法 本館ホームページ http://www.rekihaku.ac.jp/research/list/joint/public_ad/index.html から「平成30年度国立歴史民俗博物館共同利用型共同研究計画書」をダウンロードして作成し、所属長の承認を得て提出してください。（大学院生は指導教員の推薦書もあわせて提出してください。）

書類提出期限 平成30年2月23日（金）必着
書類送付先 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地 国立歴史民俗博物館管理部研究協力課研究教育係 共同研究公募担当 宛（書留郵便でご送付ください）
お問い合わせ 研究協力課研究教育係 Tel043-486-6473 E-Mail:kenkyo@ml.rekihaku.ac.jp



本館館蔵資料「石見亀井家文書」豊臣秀吉朱印状



本館所有のマルチコレクタICP質量分析装置 鉛やストロンチウムの同位体比測定から、青銅や人骨などの分析を行うことができる。

国立歴史民俗博物館の館蔵資料や分析機器は、これまでも大学院生や若手研究者の研究に活用され、研究成果が発表されています。



【図2】No.8 もてあそぶ中央連座（図説）
紙一巻折りで、連座、大面子、てんてんと五郎の別称が描かれている。文意は「もてあそぶ中央連座にも軽く顔のふゆを突かぬへり」と書かれる。「五郎」に掛けて「軽く」や「顔」を突かぬへり」という文意によって、連座の顔が「軽く」ことや、突かぬへりことを示唆する力を持たせている。（国立歴史民俗博物館蔵）

本館館蔵資料「疱瘡絵」を活用した研究例
(石垣絵美氏「疱瘡絵の画題と疱瘡除け」『國學院雑誌』118-7、2017年)

2017年7月
国立歴史民俗博物館蔵資料「疱瘡絵」の活用について
本館蔵資料「疱瘡絵」の活用について、石垣絵美氏（国学院大学）の研究が、『國學院雑誌』118-7（2017年7月）に掲載された。この研究は、疱瘡絵の画題と疱瘡除けの関係を明らかにし、その文化的背景を考察している。本館蔵資料の活用を通じて、研究者は貴重な史料から新たな発見を得ることができ、その研究成果が広く知られることで、本館蔵資料の価値がより高く評価されることとなる。

疱瘡絵の画題と疱瘡除け



本館館蔵資料「正倉院古文書複製品」を用いた資料調査

歴博へのアクセス

- 京成線利用の場合 京成上野駅から京成佐倉駅（京成本線経由特急利用の場合約55分）下車、バス約5分または徒歩約15分
- JR線利用の場合 東京駅から総武本線佐倉駅（快速利用の場合約60分）下車、バス約15分
- 自動車利用の場合 東関東自動車道佐倉ICまたは四街道ICから約15分